

(3) 学校造園教育研究会

会 長 田辺 長美 (大用中)
副会長 石川 真紀 (蕨岡小)
事務局 島田 敏和 (西土佐小)

1. 研究主題

「よりよい学校環境を目指して」

2. 研究過程

実施年月日	研究のあらまし	会 場	備 考
R5. 8. 4 (金)	○夏季研修会 「庭木の剪定方法について」(説明・実技) ※講師：池田造園 池田 道一さん	蕨岡小学校	5名参加

3. 今年度の取り組み

○夏季研修会 8月 4日(金) 蕨岡小学校

本年度は蕨岡小学校を会場に、池田造園の池田 道一さんを講師にお招きし、庭木の剪定方法について指導を受けながら実習を行った。



研修は、蕨岡小学校の正門横の築山を実習場所にして、つつじやソテツの剪定方法の説明をひとつずつ受けながら、実際に剪定ばさみ等を使って1つひとつの庭木の形を整えていった。

基本的な剪定時期としては、花や実が終わって1ヶ月程度の時期が良いことや、つつじを若返らせたいときには、3月から4月の時期にしっかり剪定すると、新しい芽が出てきて枝の若返りができること。(但し、その年は花を期待しない。)その他の樹木も、大きな剪定をする際は芽吹く前に行うとよいこと等、貴重なお話をいただきながら

の実習となった。8月の暑さの中、参加者はみんな汗びっしょりになりながらの研修であったが、きれいになった築山を見て大満足の研修となった。

その他にも下記のようなお話があったので、箇条書きしておく。

- ・大きくなった樹木を小さくしていく方法として、枝先から2番目・3番目の葉を大事に残して、その先を剪定していくようにすると、小さくすることができること。
- ・枝取りはしっかり根元から取ること。途中で切ってしまうとそこから害虫などが入る原因となること。
- ・庭園などは、できるだけ長く維持させていくために庭木や庭石などが配置されており、下から生えてきている2世・3世も10年先を見据え、残しておくことも考慮しながら管理するとよいこと。
- ・剪定ばさみは、内側は洗うのみ(研いでしまうと重なりが悪くなる。)とし、両外側を砥石で研ぐようにするとよいこと。



4. 今年度の成果(○)と課題(●)

- 昨年度は部員不足で学校造園研究会を発足させることができなかったが、本年度は少ない人数ながら活動ができたことがよかった。
- 専門的なプロの指導や助言をいただけたことで、今後、学校環境を整えていくために有意義な研修となった。
- 次年度以降も、池田造園さんを講師に研修を行う場合は、お盆前の8月上旬は大変忙しい時期と重なり日程調整が難しいため、研修日をお盆以降に変更して行う必要がある。